

県医労新聞

2014年8月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電話 019-623-8271
FAX 019-623-8273
URL <http://www.iwate-ken-irou.org/>

編集発行人
中野 るみ子
毎月1回発行1889号(月刊104号)



130名が参加した「第39回岩手県医療研究集会」(花巻温泉・ホテル千秋閣)

目次

- 1 P～4 P
第70回定期大会
- 5 P
「給与制度の総合見直し」反対 東北総行動
7.1緊急昼デモ(集团的自衛権)
- 6 P
岩手県医療研究集会
支部定期大会(一戸、釜石、二戸、胆沢)
- 7 P～8 P
女性部ニュース
- 9 P
看護部ニュース
- 10 P
つぶやき とんがらし
6月号パズル当選者
- 11 P
お知らせ
◇フレッシュセミナー
◇医労連共済 2014年度共済推進対策会議
懸賞パズル 8・9月の予定



記念講演講師・山本万喜雄さん(愛媛大学名誉教授)

増員実現する運動を!

～ 県医労第70回定期大会 ～



2014年度運動方針を提案する〇〇新書記長

2013年度財政報告 並びに会計監査報告

組合費は、当月納入で遅れた支部はありましたが、5月末には全支部で納入さ

第1号議案

県医労第70回定期大会は、6月20、21日の2日間、花巻市「ホテル志戸平」で開催されました。19支部106人の代議員・オブザーバーが出席。働きやすい職場実現に向けて、増員、権利取得、組織拡大などが報告され、運動方針や役員体制などが決定されました。

れました。しかし、平均納入組合員数は減少しました。

会計監査報告では、旅費精算書で複数名受領する場合は、各個人の自筆が原則であることが口頭で指摘されました。

財政報告は、満場の拍手で承認されました。

第2号議案

2014年度運動方針

■大幅増員

南光支部

大幅増員は、運動を続けてこそ、職場で実感できる増員になる。出産、育児、

産休などもあり、配置定数ではなく、実際に働く人の数が問題だ。

釜石支部

他の病院から、県立病院が大幅増員すると、看護師が取られるのではないかと心配があると言われた。もっと大きな、岩手全体での看護師確保の運動も必要だ。

釜石支部

とにかく看護師が足りない。日勤に出勤するとき、

今日も超勤かと思うと、気分が落ち込む。医療局全体で病休70人は異常だ。

千厩支部

外来会議で赤字だと話された。二次輪番日が多くなり、旧千厩町外の看護師まで待機に入っている。実際に来るのは大変で、増員が必要だ。

中央支部

医大が移転すると、中央病院への患者集中も心配さ



運動方針(第2号議案)を満場一致で採択

れる。CT機械を増やす話はあるが、それを操作する技師の増員も必要だ。

宮古支部

循環器の医師が増えたが、看護師が増えず、休憩もきちんと取れない状況だ。委員会、研修も多く、試験もあり、合格しなくてはならない。

中央支部

再任用2年目だ。産休、メンタル等の職員が多く、看護師が足りない。なんとか綱渡りのように働いている。増員が必要だ。

一戸支部

医師不足で精神二次輪番の対応ができなくなった。

■パワハラなど

久慈支部

働きにくい職場になっている。「あなたが一番年次を取っている」などと言う師長がいる。パワハラも横行している。当局の管理者研修で、しっかり指導すべきだ。

中部支部

パワハラ対策を支部で協



青年部について発言する〇〇代議員（一戸支部）

議し、実態を書き留めることなどし、事務局長への申し入れもした。こうした取り組みで対応が変わった。

胆沢支部

親の危篤の連絡を受け、年次で帰ったら、職場放棄だと叱責された。さらに「看護師は親の死に目に会えないものだ」とも言っている。ひどいパワハラだ。

二戸支部

パワハラ問題は、衛生委員会での取り上げ、さらに勤務表での調整で対応している。完全な解決にはなっていないが、医師を含めた働きかけなども必要だ。

遠野支部

パワハラ問題は、病院長が替わったこともきっかけで改善され、働きやすい職場環境になってきた。別のパワハラもあり、支部で対応している。

■超過勤務、年次など

胆沢支部

昨年、私は年次が〇日だった。同じ部署で多い人で3日くらい。希望しても非番にされる。時間外の研修が多く、感染委員会以外は超勤を書くと言われる。「超勤書くな」のパワハラだ。

久慈支部

自主研修だと言いながら補助者にまで出席させている。出席のチェックもされ、年3回以上の出席を求められている。

磐井支部

夜勤専従看護師、補助者夜勤の導入が始まった。衛生委員会で、月20時間を超えた看護師がいらないと報告されたが、書けないのではないかと追及し、書いていいとの回答を引き出した。年次希望が夏季休暇にされる。



支部機関紙表彰（胆沢支部）

中央支部

年次希望が夏季休暇にされた。師長からのメッセージがあり「7、8月は混み合うので、ご利用は計画的に」と書いてあった。

江刺支部

あと1時間で月20時間を超えるから、もう書かないでという攻撃がある。

■夜勤問題

中央支部

ニッパチ闘争から年月が経過した。若い組合員にも、

ニッパチの歴史を知らせ、いっしょに運動していくことが必要だ。

■組織拡大

中央支部

奨学金を借り、借金を背負って新採用になっている青年が増えている。200万とか300万円の返済だ。これが組合加入の障害にもなっている。軽減措置なども検討すべきではないか。



本部役員選挙の投票

一戸支部

9人中7人が組合加入した。医労連共済も魅力の1つだが、自動車共済では、他に安いものもある。

江刺支部

5人中4人が加入した。最初に歓迎会をし、その後組合説明会をして加入になった。

二戸支部

17人中14人が加入し、支部の組合員は202人となり200人を初めて突破した。一戸病院の調理部門の全面委託で、二戸の調理師の人事異動も心配される。看護師不足で、学生にアピールしているが、問題もある。



大会宣言を読み上げる
〇〇代議員（一戸支部）

■その他

山田支部

大槌病院は3階建てで、公舎も整備される。しかし、山田病院は公舎建設の予定がない。看護師が増えれば、当然に必要なになる。

大船渡支部

4月から給食業務の一部が委託の予定だったが、中止になった。人員は委託を前提に配置されていたが、人が増やされていない。早番で出勤し、遅番まで仕事をし、いわゆる通し勤務もある。若い職員でも気力、体力でつらい勤務だ。

久慈支部

医療クラークは、診療報酬上、仕事が限定され、医師の指示で動くことになっている。いろいろな職種の連携は必要だが、配慮が必要だ。

宮古支部

支部旅行に15人で参加し



特別決議を読み上げる
〇〇代議員（中央支部）

た。今後も企画していきたい。

本庁支部

エアコンなし、ロッカーなしで、病院に比べ劣悪な労働条件だ。12人の組合員で、定期大会、送別会を開催。衛生委員会に出席している。病休者がいて心配だ。

青年部

スキー・スノボ交流会に76人が参加し、大成功だった。今年の青年部定期大会を成立させるために各支部での協力をお願いしたい。

女性部

県母親大会がすぐある。ぜひ沢山の方に参加して欲しい。女性部でバスツアーも企画している。

県医労友の会

会員が640人になった。昨年は、増員署名などで、いっしょに運動ができた。医療改悪で困るのは老人だ。徴兵制を許さない闘いなど、いっしょに進めていきたい。

Ⅱ総括答弁Ⅱ

17支部のべ40人の発言があった。職場の大きな問題は人手不足であり、それが討論で明らかになった。看護師確保対策委員会を立ち上げたようだが、悪いところを隠しているのではないか。組合として、働きやすい職場、学生に歓迎される職場実現のため交渉し、運動を強めていく。運動をするためには、支部体制の確立がなにより大切だ。団結を強め、頑張っていこう。



団結ガンバローで意思統一

第3号議案

県医労規約・規程の一部改正

■再任用で短時間勤務の職員の組合費について

投票総数87票中賛成86票・反対1票・無効票0票で採択されました。

■臨時／パート等職員の本部費免除について

投票総数87票中賛成87票・反対0票・無効票0票で採択されました。

第4号議案

永年組合員の表彰

14支部37名の被表彰者を拍手で承認しました。記念品として秀衡塗りのワイングラスを贈呈します。

なお、20年以上で退職される組合員にも、退職時に

同様の記念品を贈ります。



記念品のあやめワイングラス

第5号議案

2014年度財政方針

満場一致で採択されました。

第6号議案

2014年度役員及び各種委員の選出

今年度の本部役員、統制委員、犠牲者救済委員は、表のとおりです。

2014年度本部役員

役員名	定数	立候補者氏名	所属
中央執行委員長	1	○ ○ ○ ○ ○	専 従
副中央執行委員長	2	○ ○ ○ ○ ○	専 従
		○ ○ ○ ○ ○	久 慈
書記長	1	○ ○ ○ ○ ○	専 従
書記次長	1	○ ○ ○ ○ ○	専 従
中央執行委員	11	○ ○ ○ ○ ○	専 従
		○ ○ ○ ○ ○	中 央
		○ ○ ○ ○ ○	釜 石
		○ ○ ○ ○ ○	一 戸
		○ ○ ○ ○ ○	高 田
		○ ○ ○ ○ ○	中 央
		○ ○ ○ ○ ○	二 戸
		○ ○ ○ ○ ○	大船渡
		○ ○ ○ ○ ○	千 厩
		○ ○ ○ ○ ○	中 部
		○ ○ ○ ○ ○	南 光
会計監査委員	3	○ ○ ○ ○ ○	遠 野
		○ ○ ○ ○ ○	本 庁
		○ ○ ○ ○ ○	中 央

第7号議案

2014年度特別執行委員の決定

○ ○ ○ ○ ○ 氏、○ ○ ○ ○ ○ 氏を満場の拍手で特別中央執行委員として確認しました。

退任役員の紹介

■中央執行委員

○ ○ ○ ○ ○ (大船渡支部)
○ ○ ○ ○ ○ (宮古支部)

■会計監査委員

○ ○ ○ ○ ○ (本庁支部)

2014年度犠牲者救済委員

選出区分	氏 名	所属支部
北部地区	○ ○ ○ ○ ○	久 慈
中部地区	○ ○ ○ ○ ○	遠 野
三陸地区	○ ○ ○ ○ ○	宮 古
南部地区	◎ ○ ○ ○ ○	南 光
執行部	○ ○ ○ ○ ○	中 部
執行部	○ ○ ○ ○ ○	高 田

2014年度統制委員

選出区分	氏 名	所属支部
北部地区	○ ○ ○ ○ ○	二 戸
中部地区	○ ○ ○ ○ ○	胆 沢
三陸地区	○ ○ ○ ○ ○	釜 石
南部地区	◎ ○ ○ ○ ○	磐 井
執行部	○ ○ ○ ○ ○	専 従

※「◎」は委員長

「給与制度の総合的見直し」は中止せよ！ 人事院勧告前行動in仙台

今月上旬にも勧告される見通しの人事院勧告は、①全体の公務員賃金の引き下げ（全体で2～3%）、②地域手当の見直しによる地方勤務の公務員の賃下げ、③高年齢層（50代後半）の賃下げ、④現業職員の賃下げなどを内容とする地域経済を

も破壊する「給与制度の総合的見直し」が目論まれています。

これに対し人事院勧告前行動を重視して、7月1日に日本医労連東北地方協

が、東北公務労組連絡会（国公や自治労連、県医労含む）が7月10日に人事院東北事務局（仙台）に向けて、集会やデモ、要請行動などを行いました。

7月10日は、台風8号が心配される雨の中、東北各

され、更に賃下げで自宅再建もままならない」と怒りの声を寄せている。人材確保のためにも賃下げではなく賃上げを」と訴えました。

公務労組連絡会の行動

7月10日は、台風8号が心配される雨の中、東北各

県から約一〇〇名が参加。12時から錦町公園での集会、デモ行進の後、人事院東北事務局への要請・懇談を行いました。要請・懇談では、東北各県の代表者20名に対し村上総務課長が出席。岩手からは、被災地で困難を抱えながら奮闘する公務労働者の姿などを訴えました。

いずれも、担当者は「生の声をしっかりと本院に伝える。みなさんの思いは受けとめた」と応えました。



7月10日県医労から〇〇副委員長が参加



7月1日県医労から〇〇委員長、〇〇書記長が参加

医労連の行動

7月1日は、東北各県医労連と全医労、県医労から代表9名が参加し、人事院東北事務局・村上総務課長へ要請・懇談を行いました。県医労からは「被災した病院で働く看護師が『家も流

閣議決定を許すな!! 盛岡に300人 7・1盛岡緊急昼デモ

「若者を戦場へ送るな!」と力強くぶしを突き上げ、行進する参加者



集団的自衛権行使容認について、安倍内閣は、国会会期中には決めず、7月1日に閣議決定しました。

閣議決定前の昼休み時間に、盛岡では国合同庁舎前から大通り商店街、裁判所前までを300人以上の参加者が、「9条を守れ! 自民公明は民意を守れ!」のシュプレヒコールを上げながらデモ行進をしました。

商店街では、信号待ちの人が手を振って応えてくれました。

第39回岩手県医療研究集会

創造力を持ち、ともに学び考えよう

7月12～13日 花巻温泉「ホテル千秋閣」



精神分科会で発表する一戸支部・〇〇〇〇さん(上、左から3人目)

第39回岩手県医療研究集会には、133名(県医労から7支部・本部25名)が参加しました。

記念講演は愛媛大学名誉教授の山本万喜雄さん。「いのちとくらしと生き方とともに学ぶよろこび」と題し、子どもの排泄から暮らしと健康について、病気も人を育てること、自分の頭で考え創造力を持つことなど、一緒に学び考える仲間を交えながら話されました。



看護分科会で発表する本部・〇〇〇〇さん

記念講演後、参加者は看護・介護・精神・保育の4つの分科会と基礎講座にわかれ、看護は新腰痛予防対策指針を、介護は介護保険制度を、精神は精神医療をめぐる情勢を、保育は子ども・子育て新制度について学びました。基礎講座は1日目に「病院の領収書の中身がわかる講座」、2日目に「終末をどこで迎えたいか」のグループワークが行なわれました。

精神分科会では、一戸支部・〇〇〇〇さんが「当院精神外来での取り組み」について、看護分科会では、〇〇〇〇〇中執が「児童養



釜石支部
7月16日開催。執行委員会の定期開催を確認



一戸支部
7月16日開催。各支部から発言有り。支部旅行の企画も提案されました。

支部定期大会



二戸支部
7月17日開催。今年度も元気にガンパロー！



胆沢支部
7月18日開催。労働環境の悪化に「がまんも限界」の発言が。

護施設の思春期女子を対象にした、助産師による『女の子の教室』継続の試み」と、鈴木書記次長が「岩手県立

病院における夜勤専従看護師問題」にレポート発表を行いました。



県医労女性部第57回定期大会

超勤
書こうね!



声に出し 輪を広げよう

討論では、10支部から発言があり、人員不足からくる劣悪な職場環境、職員に冷たい当局の姿勢があらわになりました。なかでも、

大会には、来賓として岩手県母親大会実行委員長の鈴木まき子さんが出席し、「岩手県母親大会in奥州」成功のお礼と連帯のあいさつがありました。また、いわて労連女性部、岩手医労連女性部から、それぞれ激励のメッセージが寄せられました。



県医労女性部第57回定期大会は、7月4日から5日の二日間、つなぎ温泉の「ホテル紫苑」を会場に、15支部・本部76名が参加して開催されました。

新年度役員には、新たに二戸支部の〇〇〇〇さん、宮古支部の〇〇〇〇さんに加え、全員信任されました。

【発言より】
○夜勤専従者がいるのに、

夜勤専従をはじめとする夜勤労働に関しては、職員定数が増えた実感が得られないという状況が出されました。
そんな中で、超勤を一度も書いたことがない病棟で、勇気を出して書いたところ、「同僚も書くと言ってくれた」と、草の根的な活動の大切さを再確認しました。

9回夜勤が多発している。

○育児時間、部分休業者でも8回夜勤をしている。夜勤免除の申請をした時に「夜勤ができれば、辞めるしかない」とまで言われた。

○補助者夜勤導入に当たって、一人ひとり意思確認された。やむなく夜勤をしている人もいる。

○超勤を誰も書いたことがない。超勤簿自体が見当たらない。

○インシデントの分析は裁判のようだ。

○夏季休暇5日は、忙しい病棟は取れない。

○PNS。主にペアで2人の患者を見るため、情報量が多く、超勤が増えている。

○栄養科では超勤簿を見たことがないと言っている。5人の内2人がメンタルで休んでいる。

「常に心を新しく生きる」 啄木の魅力を知る

2日目の記念講演はラジオでもおなじみ啄木研究家の山本玲子さんが、「啄木と音楽」もう一つの魅力」と題して講演。26歳という短い生涯を、常に「心を新しくして生きてい」と知識欲にどん欲に生きた石川啄木の人の柄、妻・節子との出会いとエピソード、作家仲間との交流と別離など、啄木が影響を受け

た音楽を交えながら話されました。また、啄木の影響を受けたとして谷村新司の歌「昴」と啄木の文芸雑誌「スバル」、「昴」の歌詞と歌集「悲しき玩具」の類似点など、興味深いお話しもありました。



講演する山本玲子さん

たが、参加者からは「ふるさとを再確認できた」「啄木の世界観を発見できた」など、啄木の魅力を十分に感じることができた講演でした。

元気の源「懇親会」



夜の懇親会のオープニングは、今年も県医労OBのハワイアンダンスが始まりました。退職後も元気に活

動している姿は、私たちにパワーを与えてくれます。組合員のお子さんも10名参加し、ビンゴ大会で盛り上がるなど、楽しいひとときを過ごしました。美味しい食事と温泉、解放された雰囲気のリフレッシュした交流会でした。



懇親会の締めは「あしたがあるさ～女性部バージョン」

お母さんも私たちも「女性部」です！



2014年度

本部女性部役員

部長	○	○	○	○	(専 従)
副部長	○	○	○	○	(中 央)
書記長	○	○	○	○	(大船渡)
委 員	○	○	○	○	(久 慈)
	○	○	○	○	(二 戸)
	○	○	○	○	(専 従)
	○	○	○	○	(中 央)
	○	○	○	○	(胆 沢)
	○	○	○	○	(江 刺)
	○	○	○	○	(磐 井)
	○	○	○	○	(宮 古)

機関紙の表彰

この1年間、女性部の機関紙を発行した2支部に、組合の教育宣伝、組織強化に大きな役割を果たしたとして、記念品と賞状が手渡されました。表彰されたのは次の支部です。

中部支部「しらゆり」

南光支部「はこべ」



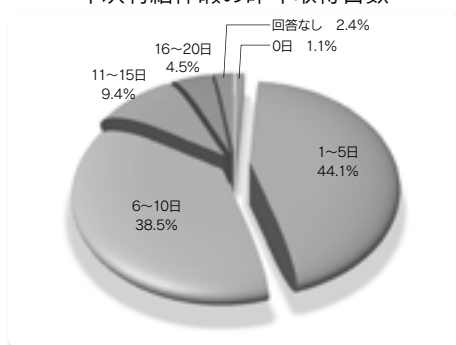
表彰される中部支部の代表

やめたいと思いながら働いているその背景



【2013年看護職員の労働実態調査 県医労版 報告パート3】

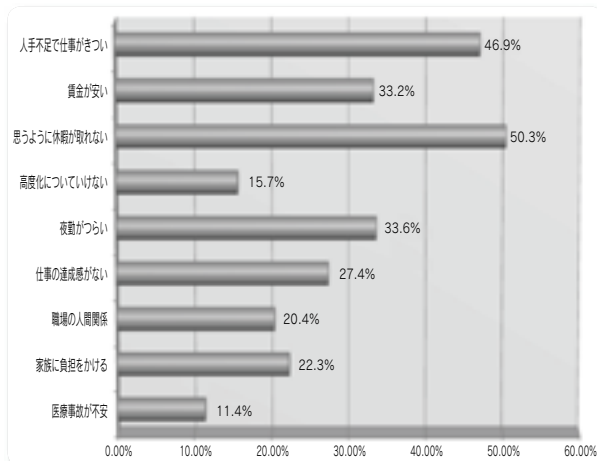
年次有給休暇の昨年取得日数



あなたは仕事を辞めたいと思うことがありますか。

「2013年看護職員の労働実態調査」結果によると、「いつも思う」29.4%、「ときどき思う」53%、合わせて82.4%の看護職員が「仕事を辞めたい」と思っています。

その理由（複数回答）のトップは、「思うように休みが取れない」。次いで「人手不足で仕事がつい」「夜勤がづらい」「賃金」の順となっていました。



2009年の調査結果も同様で、私たちの労働実態は5年経っても何も改善されていないことがわかりました。

昨年の年次取得日数を見ても、5日以内が4割となっており、組合の要求である「毎月1日以上、年15日以上」には遠く及びません。年次有給休暇を希望どおりに取得するためにも、増員は切実です。

～お知らせ～ 看護指導監との懇談

看護部会では、9月に看護指導監との懇談を予定しています。（日程調整中。後日お知らせします。）

指導監の考えをお聞きしたり、日頃私たちが感じていることなどを伝えることができます。

たくさんの方の参加をお待ちしています。



もう黙ってはいられない

自由意見欄にはこんな声も寄せられています。

★思うように休暇が取れないのは辛い。

★年次を希望しても非番にされる。

★まとまった休みが欲しいと思っても、シフトが決まっただけでなかなか言い出せず、親の看病ができず、悔しい思いをした。色々な面で家族に負担をかけている。辞めたい、いつだったら辞められる

かといつも考えている。

★夜勤が辛い。

★自宅があるのに自宅から通えずアパートを借りたり、疲れがたまり休みたくても休めず、夜勤をしても手当は安く、一体何のために働いているのか。切なくなる。

★過酷な仕事なのに、賃金を減らされて働く意欲がなくなる。

★夜勤が忙しくて全く休めない。水分さえ取れない。人が働く労働環境ではない。

ぴんぱん

夏と言えばやっぱりビールです。一関市には地ビールフェスティバルというイベントがあります。全国各地の地ビールが味わえ、地元ならではのおつまみもたくさん出店します。ビールを飲む人も飲まない人も楽しめるので、ぜひ皆さんに来ていただきたいです。

磐井支部 磯野ワカメ

原発の話を聞きました。国からの指示で避難している人の他にも「自主避難」という形を取っている人達がいることを知りました。原発の安全性ばかりを強調する政府に不信感すら覚えます。今こそ自然エネルギーへの転換が必要だ。

南光支部 ひつじ

ある真夏日の土曜午後のこと。姉弟ケンカになり、姉に「出ていけ!!」と言わ

れた年長の弟は、なぜか保育園のお昼寝布団を持って家出。公園の日陰で布団を敷き昼寝してました。

中央支部 探したんだぞ!!

毎日残業です。5月は超勤70時間超えも数名発生。7月は9回または10回夜勤の可能性をほのめかされています。この状況下、病休も発生しています。何のためにも働いているのです。か。退職願望が強まるばかりです。

千蔵支部 はたるの母

当選者発表

6月号パズル

6月号パズル「まちがい7つ」には29名の応募があり、28名の方が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

■6月号当選者(敬称略)

ぼつくん、鼻曲がり土偶(以上、久慈支部)、越冬カメ虫(二戸支部)、みつちい、〇〇〇〇〇(以上、中央支部)、トリスハイボール(中部支部)、ベガ、磯野ワカメ(以上、磐井支部)、サッカードおっかけママ、魚肉ソーセージ(以上、南光支部)



うちの猫、帰るといつも三つ指ついて出迎えてくれます。ただいまと声を掛けると返事をしてくれませんが…。癒されます。

中央支部 猫元気

とんがらし

夏の風物詩と言ったら皆さんは何を想像するだろうか。私は花火が頭に浮かぶ。夜空に様々な色や形の花火が大きな音と共に打ち上がり、あつという間に消えていく。いつまでも見ていたいのに一瞬で終わってしまう儚さがまた見たいと思わせ、連想する理由なのかもしれない▼日本で現在のような花火が始まったのは江戸時代。徳川吉宗が將軍だった頃、関西方面を中心に飢饉やコレラの死者が多く、この死者の慰霊と悪霊退散を祈り、隅田川での水神祭りに合わせ、大花火を披露したことが始まりとされる▼7・8月は全国各地で花火大会が行われている。8月1日は、

花火の日にもなっている。花火大会では、会場に人が溢れ、栈敷席でなければ狭い場所での観覧になることが多い▼震災前の陸前高田の花火大会は、あの高田松原の海岸沿いがすべて観覧席だった。ゆったりと花火を見ることができ、花火の合間には波の音も聞こえてきた。あの松原は今はない。8月11日、東北の太平洋沿岸では、追悼と復興の祈りを込めた花火を打ち上げるイベント(LIGHT UP NIPPON)が行われる。このイベントは、今年で3年目。岩手では、野田村・宮古市田老・大槌町・釜石市唐丹・大船渡市越喜来・陸前高田市の6つが会場となっている▼震災から3年5ヶ月。現在の沿岸の状況と花火を見て、復興を願いたい。(ひ)

フレッシュ セミナー

1 9月18日(木)～19日(金)

2 10月25日(土)～26日(日)

会場 ホテル 森の風 鷺宿

温泉で！フレッシュ！
そして労働者の
権利を学ぼう



医労連共済

2014年度 共済推進対策会議

2014年9月28日(日) 13:30から
29日(月) 12:00まで

**会場：東京ベイ
舞浜クラブリゾート**

○組織拡大担当者
○共済実務担当者

懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの
間違った箇所(印)を見つけ、
ハガキに貼付して、応募し
て下さい。正解者の中から、
抽選で10名の組合員に図書
カードを送ります。送り先
は〒020-00023 盛岡市
内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は
8月末日(必着)です。ま
た、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つ



まちがいは7つ



ぶやき」(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言書き下さい。県医労新聞で紹介する場合がありますので、匿名希望の方は必ずペンネームをお書きください。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入をお忘れなく！

8月の予定

- 2日(土)～3日(日)
第60回日本母親大会 in 神奈川(横浜市)
- 6日(水)～10日(日)
岩手平和美術展(マリオス)
- 20日(水)
支部長会議(水産会館)
- 23日(土)～24日(日)
県医労女性部バスツアー(秋田県・大曲)
- 29日(金)～31日(日)
みちのくアクト in 山形
- 30日(土)～31日(日)
岩手医労連定期大会
(30日夜に岩手医労連60周年レセプション)

9月の予定

- 3日(水)～4日(木)
看護要求実現全国交流集会(熱海)
- 6日(土)
いわて労連定期大会(盛岡市総合福祉センター)
- 13日(土)
いのちと健康を守る岩手県センター結成総会(水産会館)
- 18日(木)～19日(金)
フレッシュセミナー(ホテル森の風鷺宿)
- 20日(土)～21日(日)
いのちと健康を守る東北セミナー in 青森(浅虫温泉)
- 23日(火・祝)
支部長会議(県民会館)
- 25日(木)～27日(土)
中央社会保障学校 in 花巻(ホテル花巻)
- 28日(日)～29日(月)
医労連共済推進全国交流集会(浦安市)

